

株式会社シダー

2016年3月期決算説明会資料



いつも春の陽だまりでありたい...



目次

- 2016年3月期決算 概況
- 2017年3月期決算 見通し
- 会社概要
- 今後の事業見通し

2016年3月期 決算概況 (シダー単体)

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期		
		構成比(%)		構成比(%)	前年比(%)
売上高	10,242	100.0	11,159	100.0	109.0
営業利益	△66	—	310	2.8	—
経常利益	△283	—	47	0.4	—
純利益	△386	—	1	0.0	—

売上高

前年比109.0%の11,159百万円

営業利益

△66百万から310百万円

2016年3月期 決算概況 (連結)

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期		
		構成比(%)		構成比(%)	前年比(%)
売上高	10,791	100.0	11,731	100.0	108.7
営業利益	△26	—	335	2.9	—
経常利益	△245	—	70	0.6	—
純利益	△368	—	9	0.1	—

売上高

前年比108.7%の11,731百万円

営業利益

△26百万円から335百万円

2016年3月期 セグメント決算概況

■ セグメント売上高(連結)

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期		
		構成比(%)		構成比(%)	前年同四半期比(%)
売上高	10,791	100.0	11,731	100.0	108.7
デイサービス事業	3,358	31.1	3,310	28.2	98.6
施設サービス事業	6,660	61.7	7,607	64.8	114.2
在宅サービス事業	772	7.2	791	6.8	102.5
その他	—	—	22	0.2	—

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉用具事業であります。

2016年3月期 セグメント決算概況

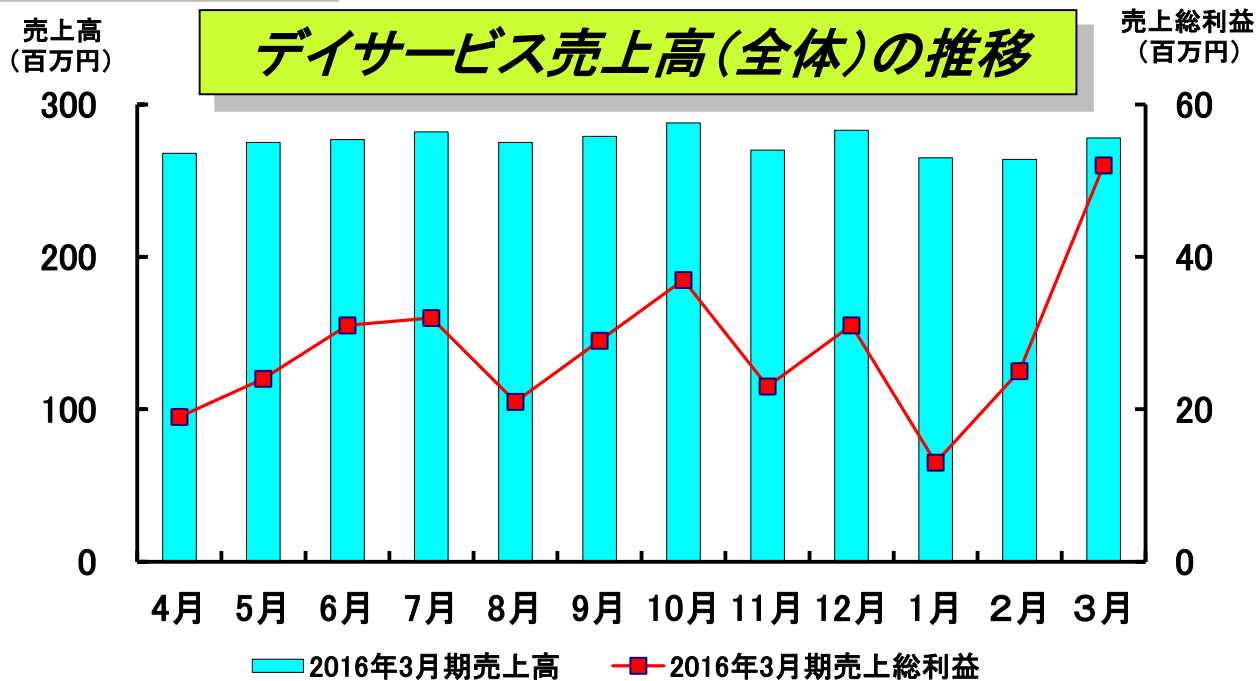
■ セグメント利益(連結)

(百万円)	2015年3月期		2016年3月期		
		構成比(%)		構成比(%)	前年同四半期比(%)
利益	632	100.0	1,009	100.0	159.7
デイサービス事業	346	54.9	310	30.8	89.5
施設サービス事業	305	48.4	740	73.4	242.3
在宅サービス事業	△20	—	△33	—	—
その他	—	—	△8	—	—

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉用具事業であります。

2016年3月期セグメント決算概況

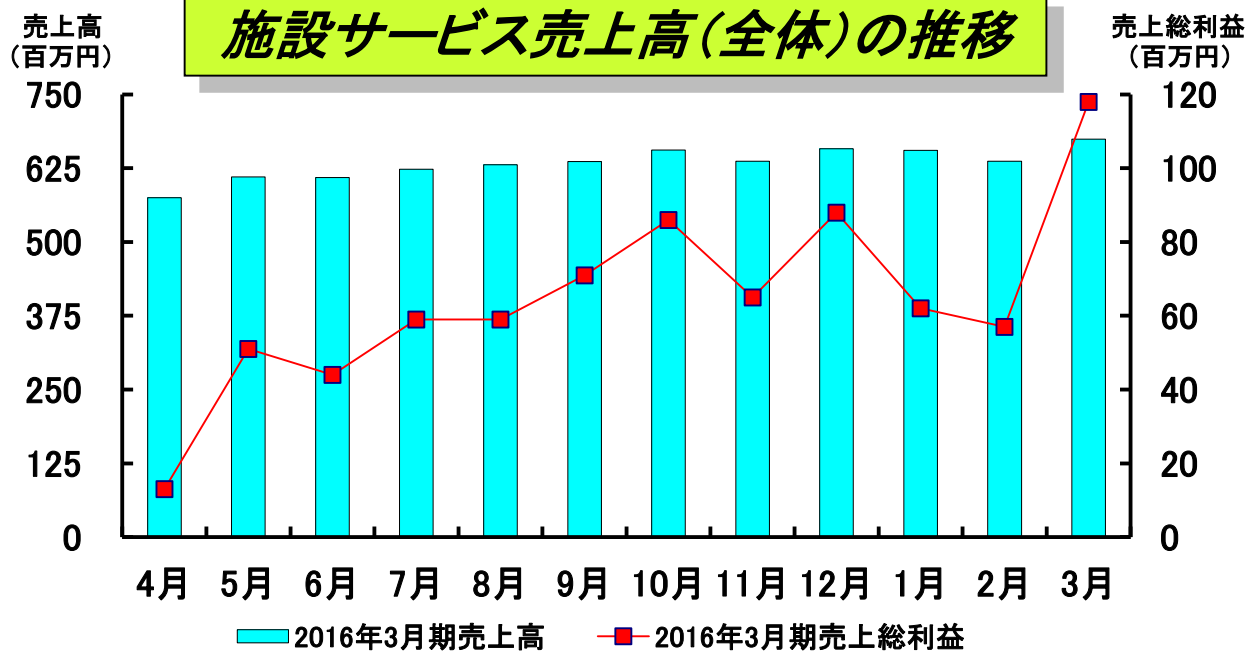
デイサービス事業



- 売上高3,310百万円
- 福岡県福岡市にデイサービスを開所（2015年8月1日事業譲渡）。

2016年3月期セグメント決算概況

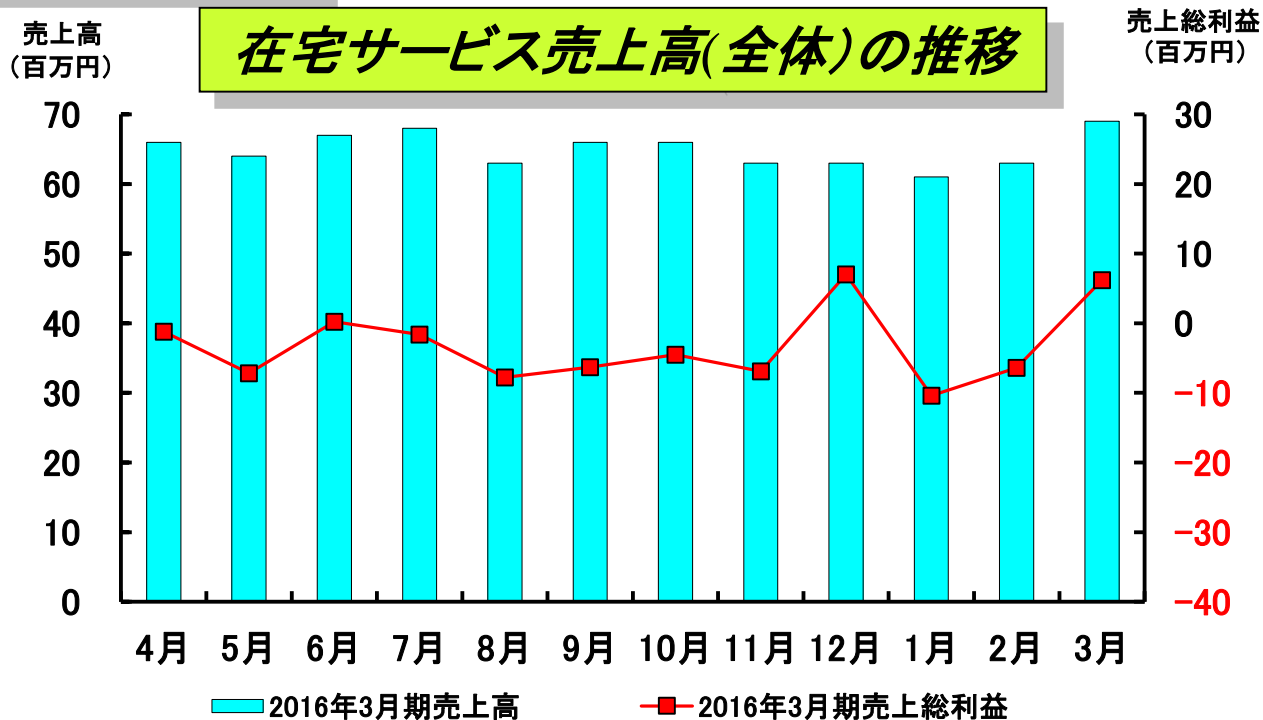
施設サービス事業



- 売上高7,607百万円
- 福岡県福岡市にグループホームを開所（2015年8月1日事業譲渡）。
大阪府大阪市に有料老人ホームを開所（2016年3月1日開所）
- 有料老人ホームの入居者獲得に注力し、新規施設を含む全ての居室数に対しての入居率89.9%（2016年3月31日）。

2016年3月期セグメント決算概況

在宅サービス事業



- 売上高791百万円
- 福岡県福岡市（2015年8月1日事業譲渡）、栃木県宇都宮市、千葉県八千代市、愛知県小牧市にケアプランセンターを開所。

2017年3月期 決算見通し(連結)

(百万円)	2016年3月期		2017年3月期 (予想)		
		構成比(%)		構成比(%)	前年比(%)
売上高	11,731	100.0	12,793	100.0	109.0
営業利益	335	2.9	196	2.5	58.5
経常利益	70	0.6	△53	—	—
当期利益	9	0.1	△76	—	—

売上高

前年比109.0%の12,793百万円

- ・有料老人ホームを3施設開設予定、新規事業の開始(就労支援事業部)

営業利益

前年比58.5%の196百万円

- ・デイサービス事業においては利用単価の向上に取り組み、利益率の改善。
施設サービス事業においては、引き続き既存施設の稼働率の向上に注力する。

経常利益

70百万円から△53百万

会社概要



CEDAR

株式会社シダー

いつも春の陽だまりでありたい



会社概要 (2016年3月31日現在)

- 設立 : 1981年4月
- 本社 : 福岡県北九州市
- 資本金 : 4億3228万円
- 事業内容 : デイサービス
介護付有料老人ホーム
訪問看護
ホームヘルプサービス
ケアプラン
グループホーム
ショートステイ
福祉用具レンタル・販売
- 従業員数 : 1,737名 (連結)
- 事業所数 : 100カ所

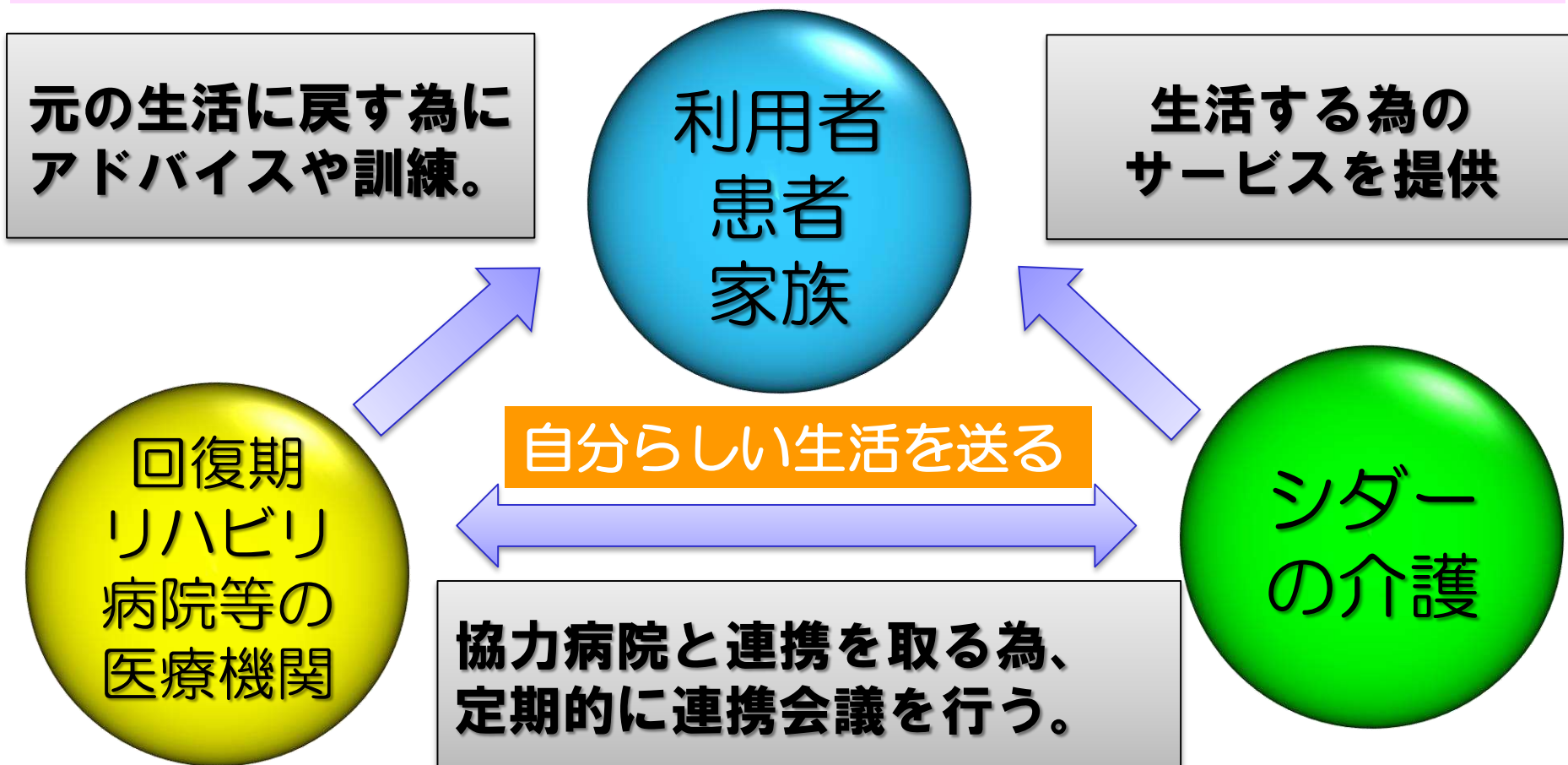


シダー本社ビル



※福祉用具レンタル・販売事業所含む

協力病院と医療・介護の連携を行いご利用者様をサポート



家で生活する為の準備

家に帰った後のサポート



シダーはリハビリテーションを重視して、永く、元気で
その人らしく、健康に暮らすお手伝いしております。





生花クラブの様子



書道クラブの様子




化粧教室の様子



外出イベントの様子



 **CEDAR** はリハビリテーションをサービスの中心に
置いた全国唯一の会社です。



当社におけるリハビリテーションとは

リハビリを頑張れば、将来元気になれる。。。だから頑張る

というものではありません。

今日自分らしく、明日も自分らしく過ごしながら、

来月、来年、もっと自分自身の力で、

自分らしく毎日を過ごす為の準備を行うという事が目的です。



新規開設施設

(2016年3月31日現在)

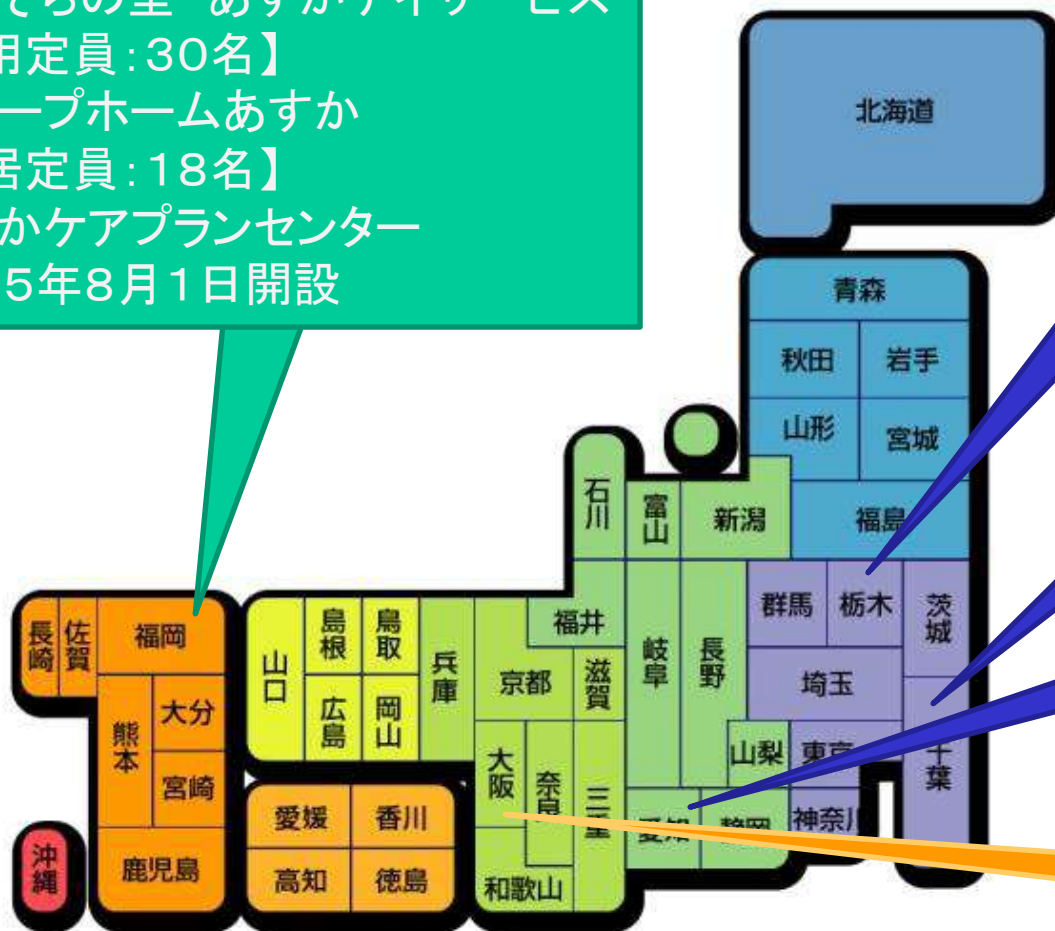
あおぞらの里 あすかデイサービス
【利用定員:30名】
グループホームあすか
【入居定員:18名】
あすかケアプランセンター
2015年8月1日開設

あおぞらの里
御幸ヶ原ケアプランセンター
2015年9月1日開設

あおぞらの里
八千代ケアプランセンター
2016年1月1日開設

あおぞらの里
小牧ケアプランセンター
2016年3月1日開設

ラ・ナシカ すみのえ
2016年3月1日開設
【入居定員:80室】



現在の拠点数

拠点数 100 施設

デイサービス	32施設
有料老人ホーム	38施設
訪問看護ステーション	6施設
ヘルパーステーション	3施設
ケアプランセンター	15施設
グループホーム	3施設
小規模多機能	1施設
福祉用具販売	1施設
福祉用具レンタル	1施設

2016年3月31日/連結

福岡県

デイサービス15施設
 有料老人ホーム6施設
 訪問看護ステーション5施設
 ケアプランセンター7施設
 ヘルパーステーション3施設
 福祉用具レンタル1施設
 福祉用具販売1施設
 グループホーム2施設

ヘルパーステーション3施設
福祉用具レンタル1施設
福祉用具販売1施設
グループホーム2施設

香川県

有料老人ホーム1施設

愛媛県

有料老人ホーム1施設
 デイサービス1施設
 ケアプランセンター1施設

山口県

デイサービス2施設
 訪問看護ステーション1施設
 ケアプランセンター1施設

岡山県

有料老人ホーム3施設
 小規模多機能型居宅介護1施設

秋田県

有料老人ホーム1施設

山梨県

デイサービス2施設
 有料老人ホーム2施設

滋賀県

デイサービス1施設

長野県

デイサービス1施設
 有料老人ホーム4施設

北海道

有料老人ホーム3施設
 ケアプランセンター1施設

宮城県

有料老人ホーム1施設

茨城県

有料老人ホーム1施設

埼玉県

有料老人ホーム2施設

千葉県

デイサービス7施設
 有料老人ホーム4施設
 ケアプランセンター3施設

栃木県

有料老人ホーム1施設
 デイサービス1施設
 ケアプランセンター1施設

神奈川県

有料老人ホーム1施設

東京都

デイサービス1施設
 有料老人ホーム1施設
 グループホーム1施設

愛知県

有料老人ホーム1施設
 デイサービス1施設
 ケアプランセンター1施設

大阪府

有料老人ホーム3施設

静岡県

有料老人ホーム2施設





デイサービス事業

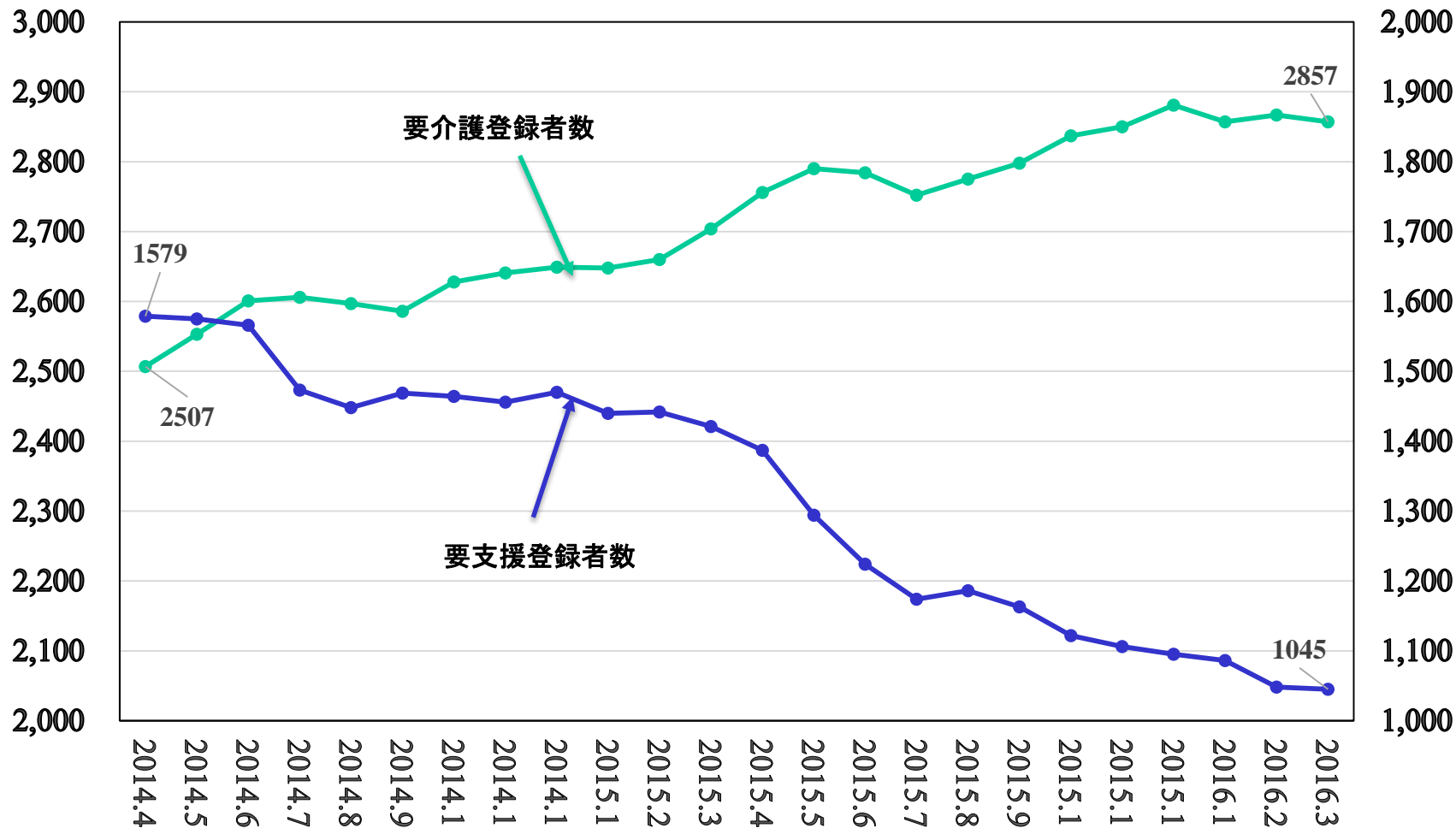


デイサービス事業

介護(人)

登録者数推移(介護・支援)

支援(人)



デイサービス事業

介護報酬改定による影響

小規模型通所介護

8.8～9.8%の基本報酬減

通常規模型通所介護

4.4～5.6%の基本報酬減

大規模型通所介護(Ⅰ)

4.4～5.6%の基本報酬減

大規模型通所介護(Ⅱ)

4.5～5.6%の基本報酬減

要支援Ⅰ 2,115単位/日



1,647単位/日 (22.1%減)

要支援Ⅱ 4,236単位/日

3,377単位/日 (38.6%減)

要支援者Ⅰ・Ⅱの利用1名あたり合計単位数/日 約30.3%減

デイサービス事業

要支援者・要介護者の利用回数平均(月)

	2014年4月	2015年4月	2016年4月
要支援(1~2)	7.4回	6.9回	5.7回
要介護(1~5)	9.4回	9.6回	10.2回

要支援者・要介護者の合計利用回数(月)

	2014年4月	2015年4月	2016年4月
要支援(1~2)	10,407回	9,040回	5,866回
要介護(1~5)	23,666回	25,500回	27,604回

要支援 ⇒ 時間短縮及び、利用回数の調整を行う。
 要介護 ⇒ 登録者数の向上に努め、利用回数の増加。

セグメント決算概況(介護報酬改定の影響)

	2015年3月期		2016年3月期
売上高	3,358百万	⇒ △1.4%	3,310百万

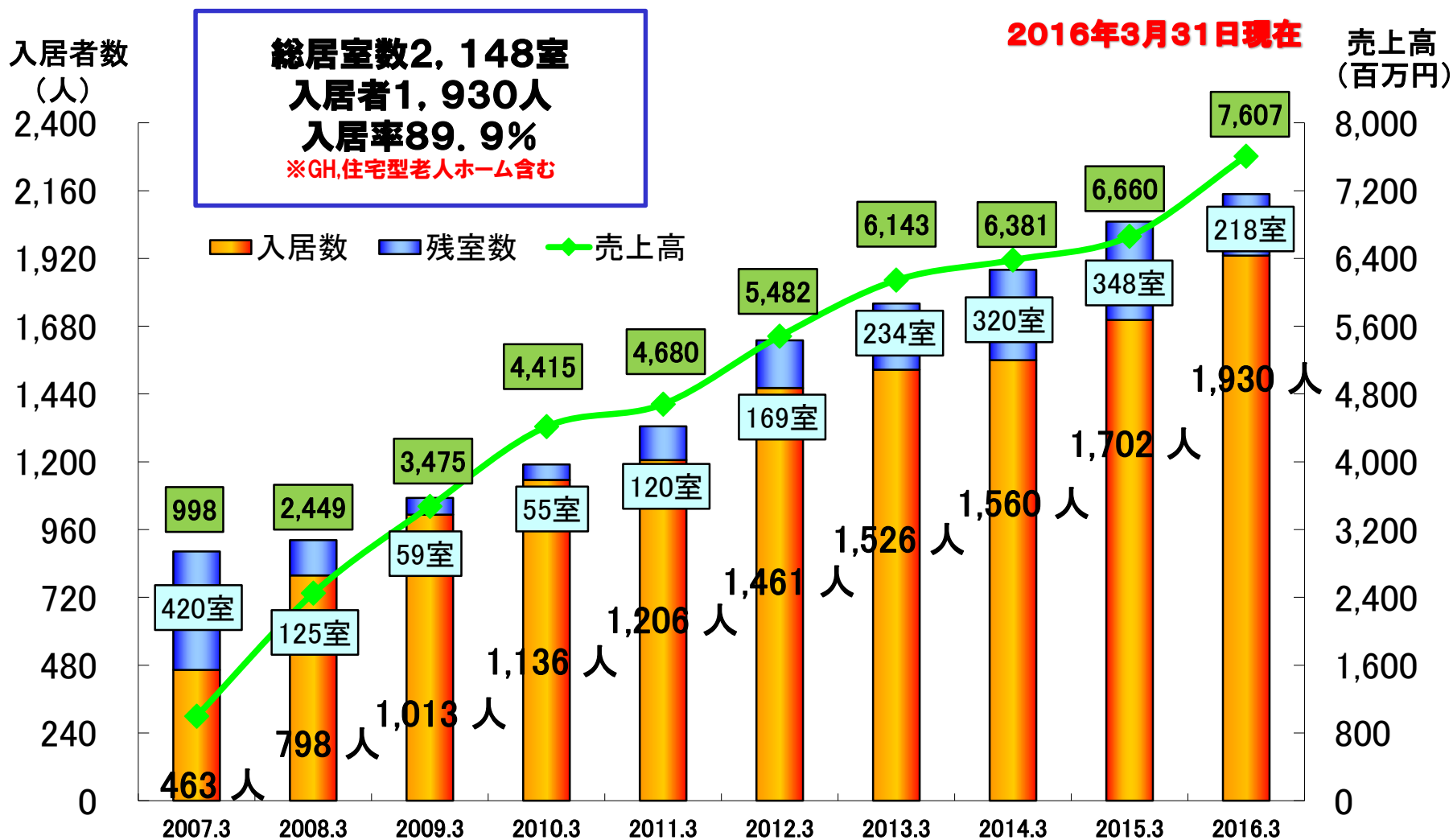
※介護報酬改定による減収(約△1.5億円:△4.8%の改定(計算値))

有料老人ホーム



施設サービス事業

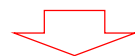
入居者数・売上高推移



施設サービス事業

既存施設の入居率

2015年 3月31日 入居者数:1,702名 入居率:83.0%

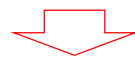


2015年 6月30日 入居者数:1,789名 入居率:87.3%

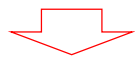


2015年 9月30日 入居者数:1,858名 入居率:89.8%

※2015年8月1日 グループホームあすか開所



2015年12月31日 入居者数:1,874名 入居率:90.6%



2016年 3月31日 入居者数:1,930名 入居率:89.4%

※2016年3月1日 ラ・ナシカ すみのえ開所

入居者
228名増

施設サービス事業

特定施設の入居者の平均要介護度が上昇傾向にあることを踏まえ、サービス提供体制強化加算及び認知症専門ケア加算の創設による重度化への対応を行う一方、介護職員・看護職員の配置基準については、要支援1の基準(10:1)を参考に、要支援2の基準(3:1)を見直す。また、基本報酬については、この見直しに合わせて、要支援2の基本報酬の評価を含めて、以下のように見直す。

特定施設入居者生活介護

基本報酬の見直し

要介護1	564(562) 単位/日		要介護1	533 単位/日
要介護2	632(631) 単位/日		要介護2	597 単位/日
要介護3	705(703) 単位/日	⇒	要介護3	666 単位/日
要介護4	773(771) 単位/日		要介護4	730 単位/日
要介護5	844(842) 単位/日		要介護5	798 単位/日

約5.2%の基本報酬減

※()内は地域密着型

要支援 I	197 単位/日	179 単位/日 (9.1%減)
要支援 II	456 単位/日	308 単位/日 (32.5%減)

施設サービス事業

セグメント決算概況(介護報酬改定の影響)

	2015年3月期		2016年3月期
売上高	6,660百万	⇒ 14.2%	7,607百万

※介護報酬改定による減収(約△2.0億円:△5.6%の改定(計算値))

管理費用の値上げ ⇒ 消費税8%が上がった分の値上げを実施

※おおよそ9,000円の値上げ

入居稼働率の向上 ⇒ 新規入居者が純増で228名



CEDAR 今後の見通し



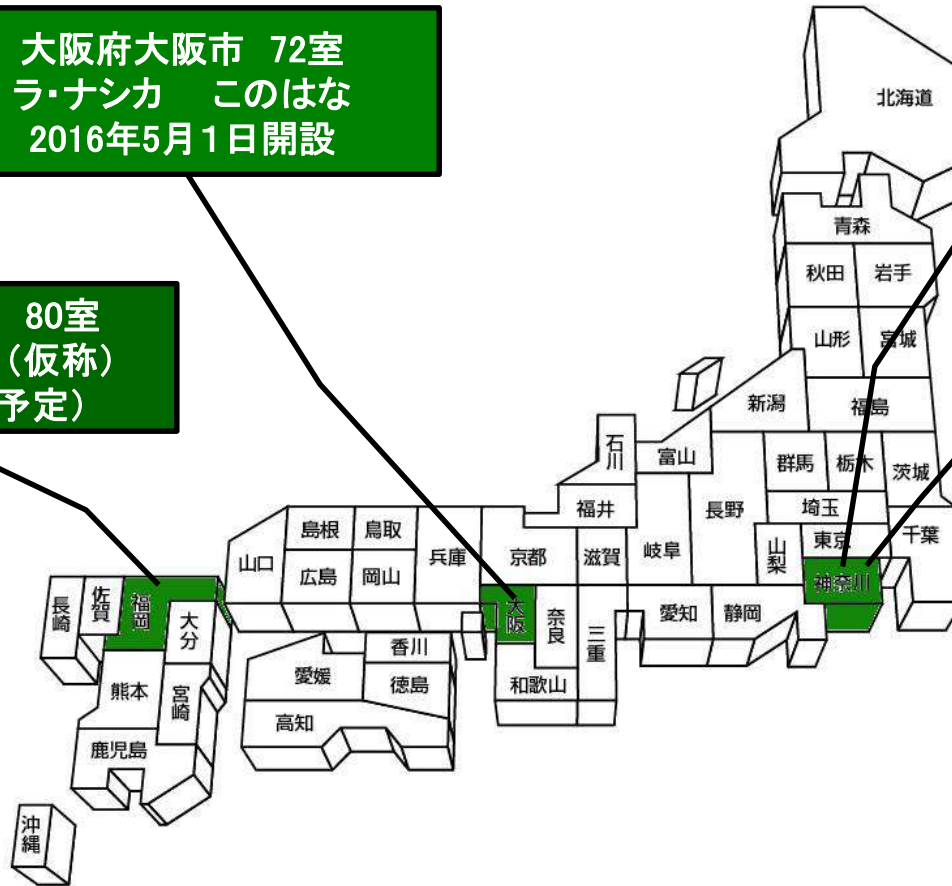
今後の事業展開 計画地域 (2016年3月31日現在)

大阪府大阪市 72室
ラ・ナシカ このはな
2016年5月1日開設

福岡県北九州市 80室
ラ・ナシカ こくら (仮称)
2017年4月1日(予定)

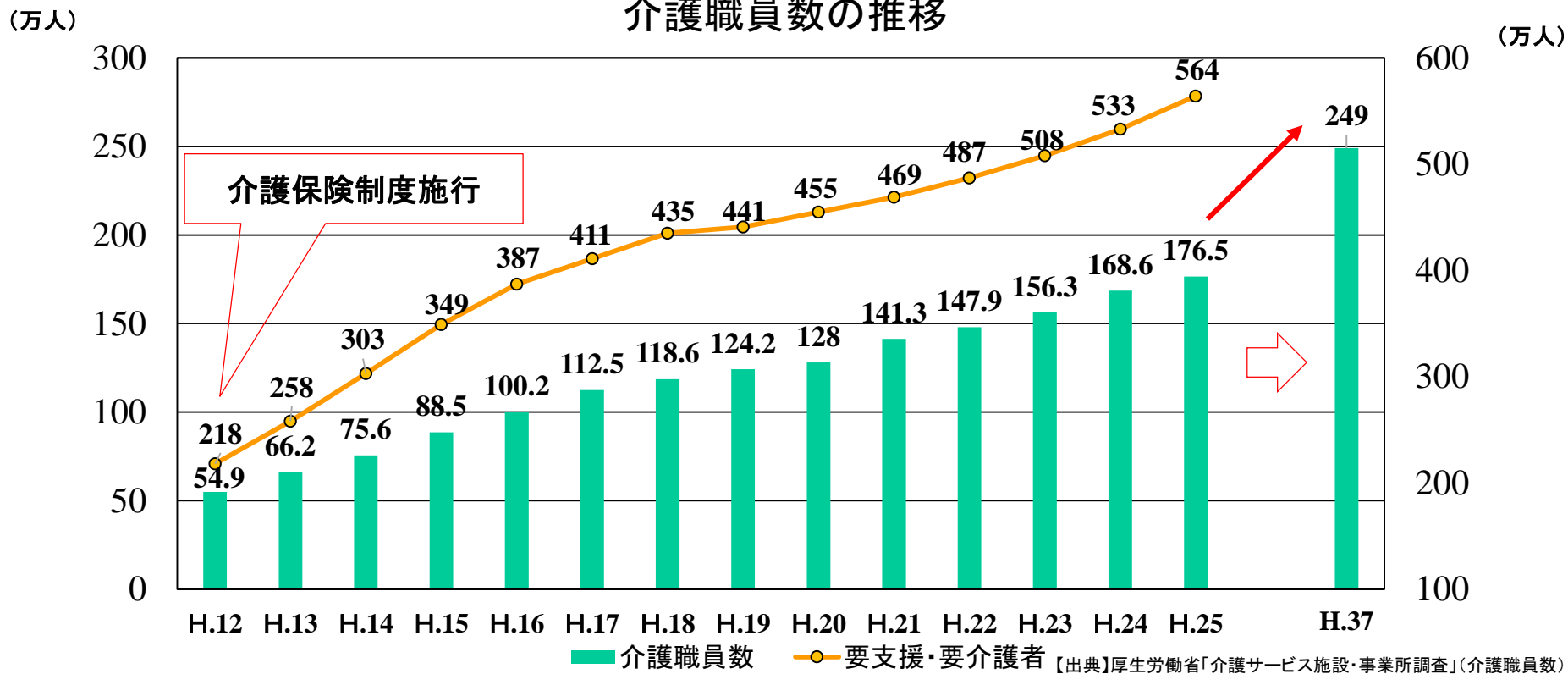
神奈川県横須賀市 60室
ラ・ナシカ よこすか式番館
2016年10月1日開設(予定)

神奈川県横浜市 67室
ラ・ナシカ 上大岡
2016年7月1日開設(予定)



2018年3月までは新規事業は基本的に実施しません。
(2018年の介護報酬改定が不明の為)

介護職員の推移と見通し



高齢者人口の推移

	平成24年8月	平成27年	平成37年	平成67年
65歳以上高齢者人口(割合)	3,058万人(24.0%)	3,395万人(26.8%)	3,657万人(30.3%)	3,626万人(39.4%)
75歳以上高齢者人口(割合)	1,511万人(11.8%)	1,646万人(13.0%)	2,179万人(18.1%)	2,401万人(26.1%)

介護職員人材確保対策の推進

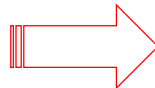
職員資格者数

※シダー単体

平成27年3月31日

職員数：1,633名	
資格名	所得者数
作業療法士	34
理学療法士	36
言語聴覚士	4
介護支援専門員	98
介護福祉士	267
社会福祉士	7
社会福祉主事	52
トレーナー	36
合計	534

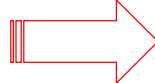
27名増



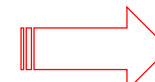
平成28年3月31日

職員数：1,660名	
資格名	所得者数
作業療法士	34
理学療法士	38
言語聴覚士	4
介護支援専門員	102
介護福祉士	329
社会福祉士	7
社会福祉主事	41
トレーナー	38
合計	593

62名増



59名増



		有料老人ホーム	デイサービス
サービス提供 体制強化加算	(I)イ	-	5事業所
	(I)ロ	3事業所	3事業所
	(II)	15事業所	17事業所
	(III)	13事業所	-

介護職員人材確保対策の推進

年間求人費用推移

求人費用	金額(千円)	増加率	離職率／月(平均)
平成25年3月期	32,948	-	1.89%
平成26年3月期	66,655	202%	2.15%
平成27年3月期	86,826	130%	1.84%
平成28年3月期	85,870	99%	1.76%

求人に注力する為、新規採用案を検討中

奨学金返済支援(予定)

毎月の奨学金の返済額に応じて、手当てとして支給する。

退職者 カムバック採用制度(予定)

退職者に対して再雇用を促す。
在籍時の給料等を踏まえ、再雇用時の待遇を決める。

職員紹介制度(予定)

在職している職員の紹介により新規職員が入職した場合、紹介した職員に対して、報酬を設ける。

給与の見直し(実施済み)

優秀な人材の育成、人材を確保する為に実施。加給を設け、その人の能力により給料の査定を行う。

人材の育成

サービスの基本を研修し、サービスの向上を目的とした研修

入職時研修

- ・ 入職時オリエンテーション
- ・ 入社時研修
- ・ 実務研修

サービス研修

- ・ 美化・サービス研修
- ・ 各種勉強会

組織を運営していける人材の育成を目的とした研修

管理育成研修

- ・ 管理者研修
- ・ 副管理者研修
- ・ リーダー研修
- ・ サブリーダー研修

スキルアップ研修

- ・ 初任者研修
- ・ 介護福祉士受験対策
- ・ 介護支援専門員受験対策
- ・ 健康運動指導士
- ・ 社会福祉主事

人材の育成

～資格取得に向けた講習や勉強会を実施～

年に1回社内にて介護職員初任者研修を実施

研修期間：月に4回

約6ヶ月で介護職員初任者研修の資格を取得

	社内	受講者合計
平成27年度	11名	12名
平成26年度	10名	12名
平成25年度	4名	10名



実務者研修の実施(予定)について

実務者研修とは介護福祉士(国家資格)の受験資格

介護福祉士受験：実務者研修の修了+3年以上の実務経験

2017年4月より開講(予定) ※2017年1月試験より

喀痰吸引等研修の実施(予定)について

介護福祉士及び一定の研修を受けた介護職員等は、
一定の条件の下にたんの吸引等の行為を実施できること。

2017年4月より開講(予定)

人材の育成

～資格取得に向けた講習や勉強会を実施～

介護福祉士 国家試験 受験対策講習の実施：月2回

平成25年度実施

	受験者数	合格数	割合
デイサービス	8	6	75%
施設サービス	18	9	50%
在宅サービス	0	0	0%
合計	26	15	57%

平成26年度実施

	受験者数	合格数	割合
デイサービス	21	17	80%
施設サービス	43	33	76%
在宅サービス	3	3	100%
合計	67	53	79%

介護支援専門委員 国家試験 受験対策講習の実施：月2回

平成25年度実施

	受験者数	合格数	割合
デイサービス	3	0	0%
施設サービス	16	3	18%
在宅サービス	0	0	0%
合計	19	3	15%

平成26年度実施

	受験者数	合格数	割合
デイサービス	15	2	13%
施設サービス	9	2	22%
在宅サービス	3	1	33%
合計	27	5	18%

障がい者雇用への取り組み ～就労支援事業～

◎紹介元へのアプローチ

(特別支援学校・就労支援センター・職業訓練校・就労支援事業所・ハローワーク等)

◎実習の受け入れ

(特別支援学校・就労支援センター・職業訓練校・就労支援事業所等)

◎障がい者就労トレーニング事業所の設置(自社有料老人ホーム内)

- ①室内・浴室・外装・車両等の清掃等
- ②配膳・下膳・食器洗浄等
- ③ベッドメイキング・ゴミ回収・ゴミ出し等
- ④感染症対策(エアコンフィルター清掃・壁や手すり拭き上げ等)
- ⑤衣類チャック・仕分け等



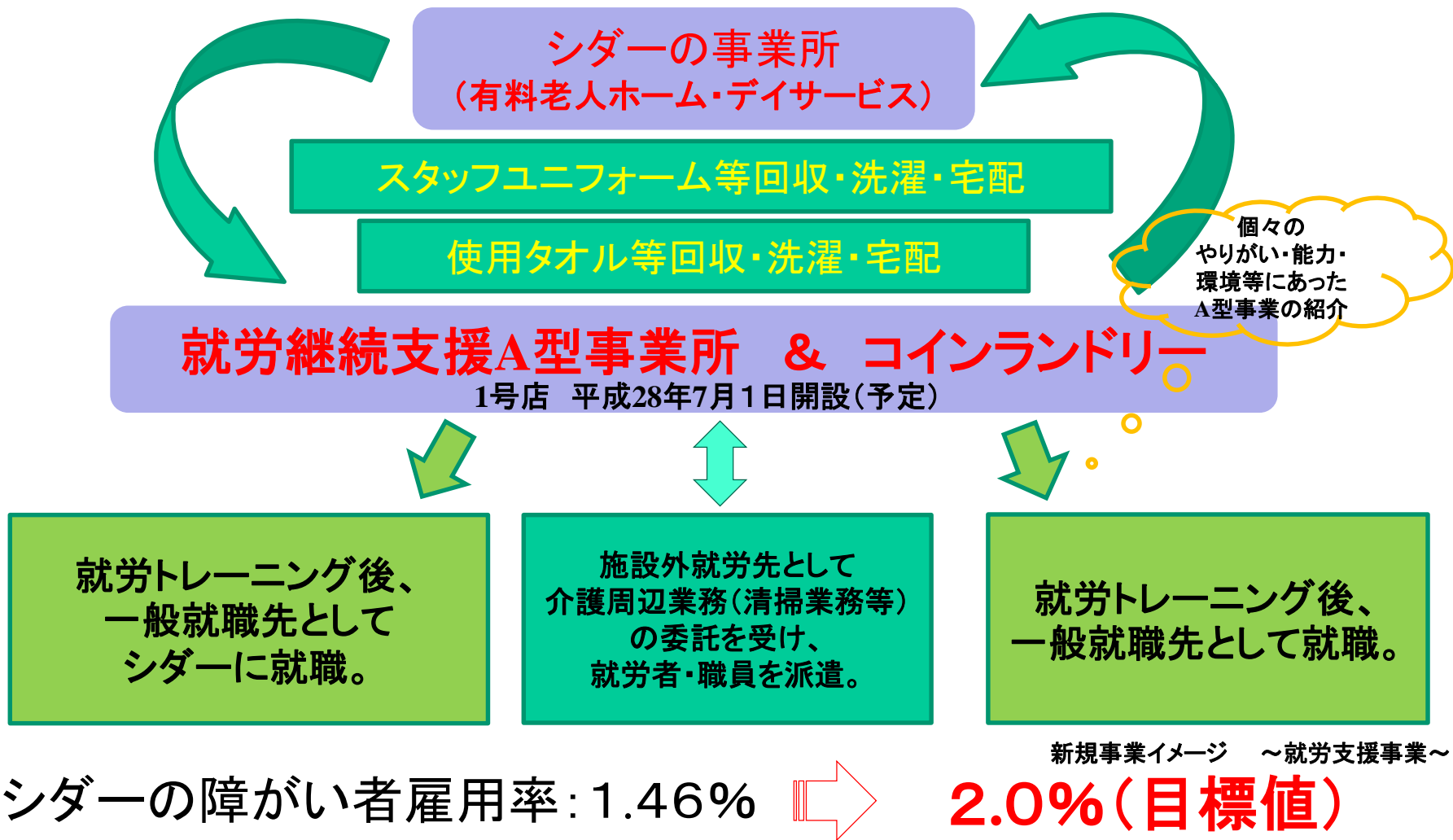
雇用前にトレーニングを行い
スムーズな雇用を実現

○障がい者就労支援事業所設置運営計画



障がい者雇用への取り組み

～就労支援事業～



※平成28年3月31日現在

本資料の取り扱いについて

本資料は株式会社シダーの事業及び業界動向についての株式会社シダーによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確かさが内在しております。既に知られたもしくは今だに知られていないリスク、不確かその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シダーは将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。本資料における将来の展望に関する表明は、2016年6月3日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社シダーにより2016年6月3日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません

2016年6月3日 株式会社シダー

